

志教育の 視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
------------	----------------------

活動名	探究課題発表会（進路発表会）
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	1学年、2学年
ねらい	①各実習の報告をとおして、お互いに学んだことを共有し、地域を知る。 ②1年生は地域、2年生は地域の産業について探究し、自分ならどのように関わるかを考える。

【実践内容】

体験的な学習活動の成果について、校内で発表する「探究課題発表会」を実施した。昨年度は進路的な内容も含んでいたが、松島地域に絞り探究し、地域にどのように関わるのかを考えていく活動を通して、地域に貢献する意識や術を学ぶ。

探究した内容を全員で共有し、2年生の取り組みを1年生に継承する機会となった。

○1学年・・・松島の自然や歴史など8分野において、調査・分析した学習活動を報告した。

【松島の子ども】 【松島の食】 【松島の自然】 【松島の防災】
【松島の観光】 【松島の歴史】 【松島の商業】 【松島の言葉】 各分野代表グループ1つ

○2学年・・・松島の魅力や仕事をテーマに、松島町内の事業所を調査し、課題の解決に向けた学習活動を報告した。

【松島の魅力についての探究】 【外国人観光客に対しての探究】
【松島の観光ガイドについての探究】 【松島の宿泊産業についての探究】 各分野代表1名

○観光科（エキシビジョン）・・・全国高等学校観光教育研究協議会における実践発表会「観高サミット」で発表したプレゼンテーションを披露した。観光科がどのような実践をしているのかを知ってもらい、松島高校の一体感を醸成する一助とする。

【観高サミット】 代表グループ1つ

1) 「探究課題発表会」に向けた事前準備

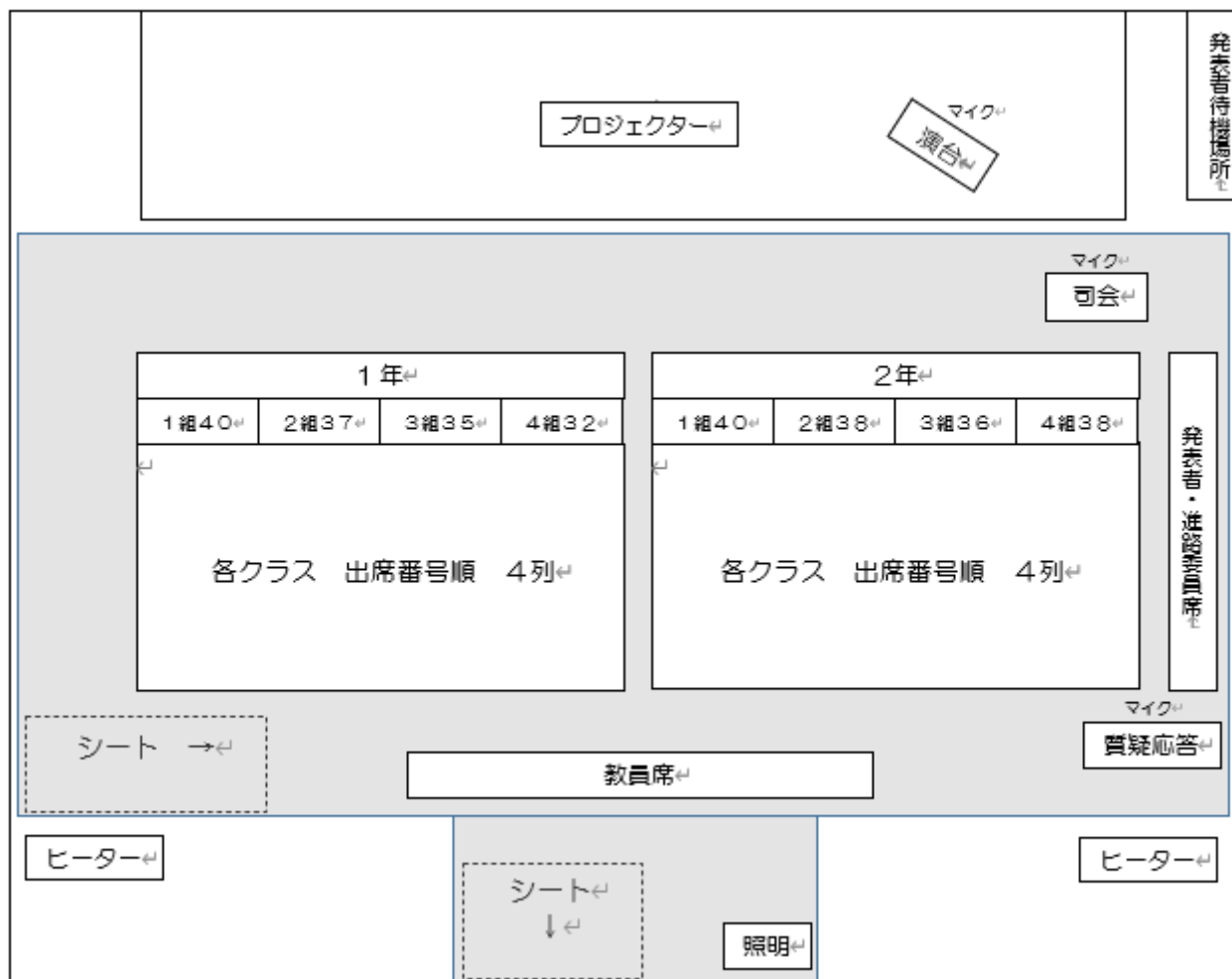
- ① 実習先（事業所）ごとに、グループ内の生徒と協力し、発表資料を作成する。
- ② 実習日誌や報告書を参考にして、実習内容や良くできた点、今後の課題やアドバイス等について、発表用スライドを作成する。
- ③ 全てのグループが学級内で発表し、相互評価をして全体場で発表するグループを選出する。

2) 「探究課題発表会」

- ① 各学年、学科の代表が発表する。
【1学年8グループ、2学年4人、観光科1グループ】
- ② 発表を聞く生徒は、発表を聞いて気付いたこと、良かったところや改善すべきところを考えて評価用紙に記入する。
- ③ 昨年度から各発表の後に、質疑応答の時間を設け、生徒の情報共有や学びの深化を促進した。

3) 「探究課題発表会」のまとめ

- ① 発表会をとおして学んだことや気付いたことを生徒間で共有する。
- ② 地域を知り、地域に関わる術を学び、よりよい地域人となる素養を身につける。



【学習活動の成果】

- 学年、学科を超えた体験的な学習活動の発表をととして、生徒が互いの良さを理解して学び合う機会となり、学校生活をより充実させようとする意識を育むことができた。
- 自分たちが体験したことをどのように伝えたら良いのかを話し合うことで、より深く考えることができ新たな学習課題を発見する機会になった。
- 体験的な学習活動の成果を全体場で発表することで、生徒が互いに学び合い、集団の質的向上を図ることができた。
- 調査・分析をととして、課題発見と解決に向けた学習活動における成果を発表することができた。
- 1年生は2年生の発表をととして、次年度の学習活動に見通しを持つことができた。
- 地域の魅力に気づき、理解を深め、身近で働く人々の職業や仕事に対する考え方等を知り、自己の将来の理想の姿を追い求める気運を高めることができた。
- 教員にとっても生徒の体験的な学習活動と想いを具体的に知ることによって生徒理解に繋がり、卒業後の生活を見通した学習指導や進路指導に繋げることができる。
- 研究発表や成果発表において、質疑応答の時間により、共有される情報への理解を深めることができることを知り、積極的に質問をする姿勢を身につけることができた。
また、生徒はどのように質問をして良いかわからずにいるが、校長を筆頭として教員が質問をする姿や内容を見て、段々と質問内容も充実してきており、その場での成長も見えて取ることができた。